

未来につなぐ歴史・文化のまち



1 歴史・文化

現状 特性と 課題

- 下町（しもまち）地域や沼垂地域など中央区には、湊町新潟を代表する様々な歴史的建造物や貴重な文化が数多く残されています。開港5港の一つとしての湊町新潟の歴史・文化の魅力をも2019年の開港150周年を一つの節目として市内外へより発信していくとともに、小中学生に伝えるなど次世代へ語り継いでいくことが重要です。
- 中央区は、古町芸妓をはじめ古くから発展してきた湊町の歴史や料亭・発酵食などの食文化など多くの魅力を持っています。区民が誇りと愛着をもってまちに暮らし、多様な世代が地元の歴史や魅力について自信をもって語るができるよう、地域や学校で歴史や文化を学ぶ環境づくりが必要です。
- 中央区には、マンガやアニメに関する施設が数多くあるため、これらの施設や人材等の資源を広く活用し、マンガ・アニメ文化を市内外に広めていく取組みの充実が課題になっています。



外国客船の入港



北前船イメージ写真



旧小澤家住宅

まちづくりの方針

<未来に向けた歴史・文化の継承>

- 若い世代に湊町新潟の歴史・文化を継承するため、学校における地域の歴史やまちなか探検などの授業をきっかけに、地域住民の協力を得ながらさらに理解を深め、子どもたち自らの歴史・文化となるよう努めます。
- 自分たちの暮らすまちに誇りを持つことができるよう、地域の歴史や文化にふれあい、学ぶことのできる機会の提供に努めます。
- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に努めます。(再掲)
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町。その花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。
- 古町地区の「マンガの家」、万代地区の「マンガ・アニメ情報館」、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携して発信力を高めるなど、関連事業の内容の充実に努めます。(再掲)



地域の歴史を学ぶスタンプラリー



新潟まつり（市民みこし）



「マンガ・アニメのまち にいがた」サポートキャラクター イラスト

2 産 業

現状 特性と 課題

- 地元産の安心安全でおいしい食材を活用した食品に関心が高まっており、農業者と消費者をつなぐ取組みが必要です。
- 中央区は、市内最大の食糧消費地であるため、新潟市の食と花の銘産品である女池菜をはじめ地場産農産物の認知度を高めることで消費拡大を図り、地産地消の一層の推進に努めるなど、農水産業の活性化を図る必要があります。

- 中央区は、北前船の寄港地として多くの地域と文化的交流が行われ、栄えてきました。中でも新潟漆器などは、今日、国の伝統工芸品に指定された伝統的な地場産業へと発展しましたが、引き続き支援・育成を図ることが課題となっています。
- 中央区では、古くから酒、みそ、しょう油、こうじ、漬物など発酵食品の店や蔵・工場などが多く、こうした中央区の伝統的な加工食品を活用した食文化への取組みの充実が課題となっています。
- 江戸時代に創業し、現在も老舗料亭として格式を誇る「行形亭（いきなりや）」と「鍋茶屋（なべぢやや）」は、いずれも国の有形文化財に登録されており、多くの芸妓衆が人々をもてなし、多くの料理人を育て、新潟の料亭文化を育ててきました。こうした新潟の由緒ある新潟芸妓と料亭文化を保護・育成していく必要があります。
- 中央区の主な商業地である古町地区・万代地区・新潟駅周辺地区は豊かな市民生活の実現や本市の経済をけん引する中核としての役割を担っていますが、歩行者数や小売販売額が減少していることから、活性化に向けた対策が必要です。



新潟漆器



新潟古町芸妓

まち
づくりの
方針

<最大消費地を活かした地場製品の消費拡大>

- 区内における農産物の生産量は少ないものの、中央区は市内最大の消費地であるため、新潟市産農産物の周知を強化し消費拡大を図り、地産地消を推進することで農水産業の活性化に努めます。

<伝統産業の育成・支援>

- 新潟漆器や新潟仏壇をはじめとする伝統的工芸品産業の振興のため、伝統技術の継承や、後継者育成、商品開発などを支援するとともにPRに努めます。
- 中央区の食文化の特徴である発酵食品を、より住民の身近に感じてもらうよう努めるとともに、区内外に向けてPRしていきます。
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町。その花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。(再掲)

<魅力あふれる商業の振興>

- きめ細かなサービスの提供、オンリーワン商品の開発・販売、新たな魅力ある店舗の誘致、歴史・文化を活用した取組み、イベントなど商店街の活性化に向けた取組みを支援することにより、魅力あふれる商業の振興に努めます。(再掲)

3 まちなみ

現状 特性と 課題

- 西大畑地区には、江戸時代から続く料亭「行形亭（いきなりや）」や明治期に建築された「北方文化博物館新潟分館」、大正期に建築された「旧齋藤家別邸*」、大正から昭和初期に流行した洋館付住宅などが残っており、歴史的価値の高い建造物が建ち並ぶまちなみとなっています。このまちなみを構成する歴史的建造物の保全を図り、歴史的な佇（たたず）まいを活かした風情ある景観を創り出していく必要があります。



旧齋藤家別邸

※庭園は、平成27年3月10日に新潟市内初の国の名勝に指定

- 新潟を代表する繁華街の一つである「古町花街」地区の骨格を形成し、懐かしいまちなみの風情を今に留めている小道を、歴史的景観に配慮しながら、にぎわいあるまちづくりに向けて整備を進める必要があります。
- 古くから受け継がれてきた湊町新潟の風情と政令市新潟の高度な都市機能が融合したまちなみづくりを進める必要があります。



白壁通り



古町東新道付近

まち
づくりの
方針

<景観に配慮したまちづくり>

- 「古町」「西大畑」の両地区は、湊町新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産が残っており、その魅力や価値を高めながら後世に継承できるように保全に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。(再掲)
- バリアフリー化を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。(再掲)



鍋茶屋通り



信濃川の河口部・左岸より

